

● 今回配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

高等教育活性化シリーズ 130(通算 401 回)

2008 年 11 月 20 日(木)

新たな教員像と養成・確保

## 教員評価・人事制度の進化と運用

高等教育活性化シリーズ 131(通算 403 回)

2008 年 11 月 27 日(木)

法人経営のコンプライアンスとリスク管理

## 大学法人の監査環境整備と機能強化策

新たな教員像と養成・確保

### 教員評価・人事制度の進化と運用

～新・学士課程教育を担う教員の倫理・資質・能力／採用・評価基準、処遇への反映～

- ※ 世代交代期の実情／新たな教員像と養成訓練の再構築／人事施策・教員評価での留意点
- ※ [東海大] 業績の多面的評価／各学部・センター独自の評価基準・方法・活用／その他評価制度
- ※ [京都産業大] FD としての教員評価／評価項目、評価方法と手順、結果の公表／運用状況

● 講師陣 ●

潮木 守一 氏／ 桜美林大学大学院 大学アドミニストレーション研究科招聘教授  
平岡 克己 氏／ 東海大学 学長室長、工学部航空宇宙学科教授  
河野 勝彦 氏／ 京都産業大学 副学長・教育エクセレンス支援センター長

2008 年 11 月 20 日(木) 日本教育会館 会議室(東京・神保町)

法人経営のコンプライアンスとリスク管理

## 大学法人の監査環境整備と機能強化策

～内部統制、教育研究、社会貢献、環境、危機管理への監査対応～

- ※ 大学法人セクター別監査業務～役割・責務・スタンス／内部統制から業務改善への進め方
- ※ [追手門学院] 監査組織の連携／監事監査の新しい地平／意識改革からリスク管理体制へ
- ※ [福島学院] 業務監査の新分野「授業参観」／諸規程・シラバスによるチェックと授業改革

● 講師陣 ●

本間 政雄 氏／ (学)立命館 副総長(新戦略、国際担当)  
(学)芝浦工業大学 理事(非常勤)、元・京都大学理事・副学長  
胸永 等 氏／ (学)追手門学院 理事・法人事務局長  
河田 亨 氏／ (学)福島学院 監事、元・福島民報社 代表取締役専務・編集主幹

2008 年 11 月 27 日(木) 中央大学駿河台記念館 会議室(東京・お茶ノ水)



[ 参加要領 ]

日時 : 高等教育活性化シリーズ 130 「教員評価・人事制度の進化と運用」  
 2008年11月20日(木) 10:30~16:30  
 会場 : 日本教育会館 会議室 (東京・神保町)  
 (東京メトロ半蔵門線・都営新宿線「神保町駅」A1 番出口より徒歩3分)  
 東京都千代田区一ツ橋 2-6-2 TEL 03(3230)2833

日時 : 高等教育活性化シリーズ 131 「大学法人の監査環境整備と機能強化策」  
 2008年11月27日(木) 13:00~17:30  
 会場 : 中央大学駿河台記念館 会議室 (東京・お茶の水)  
 (JR「お茶の水」駅徒歩3分/東京メトロ千代田線「新御茶ノ水」駅B1 出口 徒歩3分)  
 東京都千代田区神田駿河台 3-11-5 TEL 03(3292)3111

参加費	ご一名 (資料代を含む)	メディア参加 (資料及び収録カセットテープ送付)
高等教育活性化シリーズ 130 教員評価・人事制度の進化と運用	41,000 円 (消費税込)	42,000 円(送料、消費税込)
高等教育活性化シリーズ 131 大学法人の監査環境整備と機能強化策	37,000 円 (消費税込)	38,000 円(送料、消費税込)

※参加費の払い戻しはしませんので、申し込まれた方の都合が悪いときには代理の方がご出席ください。

申込方法 : 参加申込書に所要事項を記入のうえ FAX または Email にてご送付ください。

受講証と会場地図を送付しますので必ずご確認ください。

支払方法 : 銀行振込・郵便振替・当日払い・請求後の振込みがあります。

みずほ銀行麹町支店 普通 1159880 三菱東京 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767

三井住友銀行麹町支店 普通 7411658 \*郵便振替 : 00110-8-81660

口座名 (株)地域科学研究会

(なお、ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます)

インターネットでのご案内は⇒ <http://www.chiikikagaku-k.co.jp> E-mail : [kkj@chiikikagaku-k.co.jp](mailto:kkj@chiikikagaku-k.co.jp)

お申込み・お問合せ

地域科学研究会  
 高等教育情報センター

東京都千代田区一番町 6-4 ライオンズ第 2-106  
 TEL 03(3234)1231 FAX 03(3234)4993

キリトリ線( 参加申込みの折は必ずお送りください)

研修会参加申込書

2008年 月 日

■ 高等教育活性化シリーズ 130 教員評価・人事制度の進化と運用

当日参加

メディア参加

■ 高等教育活性化シリーズ 131 大学法人の監査環境整備と機能強化策

当日参加

メディア参加 (□に✓印を入れてください)

勤務先 \_\_\_\_\_

所在地 〒 \_\_\_\_\_

TEL \_\_\_\_\_

FAX \_\_\_\_\_

連絡部課・担当者 \_\_\_\_\_

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

〈通信欄〉支払方法(現金書留・郵便振替・当日払い・銀行振込) 請求書(要 不要)

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
<p>10:30 ~ 12:00</p>	<p>世代交代期を迎える日本の大学教員 ~新・学士課程を担う教員の養成と評価・人事施策~ 桜美林大学大学院 <b>潮木 守一</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 世代交代期の実情                     <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 大学教員の年齢構成</li> <li>(2) 専門分野による相違</li> <li>(3) 日本だけの問題ではない</li> </ol> </li> <li>2. 大学院卒業者に対する評価                     <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 大学教員の供給源</li> <li>(2) 研究者養成と大学教員養成の相違</li> <li>(3) 求められている新たな大学院像</li> </ol> </li> <li>3. 新たな時代に求められる大学教員像                     <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) いま大学に求められている新たな役割</li> <li>(2) GPが物語っているもの</li> <li>(3) 体験学習のファシリテーター</li> </ol> </li> <li>4. 大学院での養成訓練と学部教育との関係                     <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 大学院と学部教育との根深い葛藤</li> <li>(2) 大学院卒業生の最大雇用主の要求</li> <li>(3) 新たな関係の構築</li> </ol> </li> <li>5. 教員評価・人事施策における留意点</li> </ol> <p style="text-align: right;">〔質疑応答〕</p>
<p>13:00 ~ 14:40</p>	<p>〔東海大学〕教員の総合的業績評価制度の実際 東海大学 <b>平岡 克己</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 導入の背景と経過</li> <li>2. 制度の内容とシステム</li> <li>3. 教員活動情報データベース</li> <li>4. 評価基準と評価方法</li> <li>5. 運用と実績</li> <li>6. その他の評価制度                     <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 大学院研究指導教員資格再審査制度</li> <li>(2) 学部等研究教育補助金評価制度</li> <li>(3) 研究所評価制度</li> </ol> </li> <li>7. まとめ</li> </ol> <p style="text-align: right;">〔質疑応答〕</p>
<p>14:50 ~ 16:30</p>	<p>〔京都産業大学〕教員評価制度の運用と実際 ~その導入および実施結果と今後の課題~ 京都産業大学 <b>河野 勝彦</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教員評価制度導入の経緯</li> <li>2. 教員評価制度導入に当たって問題になったこと</li> <li>3. 教員評価制度の概要 (評価対象／評価期間／評価実施機関／評価方法と手順／評価結果の公表／評価項目)</li> <li>4. 教員評価制度の目的：広い意味でのFDとしての教員評価</li> <li>5. 教員評価の実施と課題</li> </ol> <p style="text-align: right;">〔質疑応答〕</p>

時間	講義項目
13:00 14:30	<p>監査を通じていかに内部統制を図り、大学の業務改善を進めるか？                      ～監事の業務・責務・スタンスのあるべき姿～                      (学)立命館 <b>本間 政雄</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 国立大学の監査業務の考え方                             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 監事の役割・責務・権限（業務の適法性、妥当性、効率性の観点から）</li> <li>(2) 監事の出身バックグラウンド（企業・大学・行政・専門職）</li> <li>(3) 監事の支援事務組織</li> <li>(4) 監事から見た法人化後の国立大学（全国アンケートから）</li> <li>(5) 監事は仕事に満足しているか（同）</li> <li>(6) 監事を大学の業務改善に生かすために</li> <li>(7) 京都大学における監事業務の実際</li> </ol> </li> <li>2. 私立大学の監査業務の考え方・・・ 立命館大学                             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 常勤化を契機とする監事の役割・責務・権限をめぐる学内論議</li> <li>(2) 業務の適法性のチェックを主眼とした内部統制機能の強調</li> <li>(3) 「コンプライアンス委員会」の設置と法務・コンプライアンス担当理事の任命</li> </ol> </li> <li>3. 私立大学の監査業務の考え方・・・ 芝浦工業大学                             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 監査業務の実際</li> <li>(2) 課題と展望</li> </ol> </li> </ol> <p style="text-align: right;">〔質疑応答〕</p>
14:40 16:00	<p>〔追手門学院〕監査体制の現実と課題                      (学)追手門学院 <b>胸永 等</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 監査室の設置と監査機能の充実                      ～会計監査と業務監査</li> <li>2. 連携する監査組織                      ～三様監査と「監査協議会」</li> <li>3. 監事監査の新しい地平                      ～経営管理の監査、教育制度の監査</li> <li>4. リスク管理を学ぶ                      ～意識改革からリスク管理体制の構築へ</li> </ol> <p style="text-align: right;">〔質疑応答〕</p>
16:10 17:30	<p>〔福島学院〕「業務監査（授業参観・授業改善）」への取り組み 実施5年の経験                      ～教員授業実施規程・学生受講規程の運用と授業改革～                      (学)福島学院 <b>河田 亨</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 業務監査の新分野「授業参観」                             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 危機意識の中で</li> <li>(2) 教員のマンネリと独善を排す</li> <li>(3) 学生参加で着実に前進</li> </ol> </li> <li>2. 「タメになり、思い出に残る授業」の構築                             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 教室のムードを変える</li> <li>(2) “始め”が肝心</li> <li>(3) “平盤”から“立体授業”へ</li> </ol> </li> <li>3. 単位取得か、学力増進か                             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 「評価法」「教科書」も反省の時</li> <li>(2) 出欠確認に工夫の跡</li> <li>(3) “心”注入の「シラバス」を</li> </ol> </li> <li>4. “参観効果”がもたらした「授業改革」                             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 教員のFD研修が軌道に</li> <li>(2) 環境改善にも一役</li> <li>(3) 監事はチェックと旗振り役</li> </ol> </li> </ol> <p style="text-align: right;">〔質疑応答〕</p>